

履修番号19

- 問題 1 夜間の走行では、自分の車と対向車のライトで道路の中央付近の歩行者などが見えなくなることがあるが、これをげん惑という。
- 問題 2 二輪車でぬかるみや砂利道を通行するときは、タンクを両ひざではさみ、路面の状況によっては立ち姿勢をとりバランスを保ちながら走行するのがよい。
- 問題 3 ぬかるみなどで車輪が空回りするときは、力のあるローギアに入れエンジンの回転を上げて一気にタイヤを回して出る方がよい。
- 問題 4 ブレーキ装置に水が入ってブレーキがきかなくなった場合は、低速走行でブレーキを数回かけてブレーキライニングなどを乾かすとよい。
- 問題 5 夜間、一般道路で駐停車するとき、後方の見やすいところに停止表示器材を置けば、非常点滅表示灯などを付けなくてもよい。
- 問題 6 雪の日は、他の車が通った跡をできるだけ避けて通行した方がよい。
- 問題 7 霧のときは、霧灯(フォグランプ)や前照灯を早めにつけ、危険防止のため必要に応じて警音器を鳴らすのがよい。
- 問題 8 雨の日は、窓を閉めておくとしほいで車内のガラスが曇ることが多いので側面ガラスを開けるなどして曇りを防ぐとよい。
- 問題 9 夜間、一般道路で駐停車するとき、50メートル後方に見える場合だけ、非常点滅表示灯や尾灯などを付けなくてもよい。
- 問題 10 夜間、走行中に対向車のライトを直接目に受けたとき、まぶしさのため一瞬見えなくなるので、そのときは徐行したほうがよい。
- 問題 11 雪道では、横滑りを起こしやすいので、急発進や急加速、急ハンドルは絶対に避けなければならない。
- 問題 12 濃い霧の中などで100メートル(高速道路では300メートル)先が見えないような場所に駐停車するときは、非常点滅表示灯、駐車灯または尾灯をつけなければならない。
- 問題 13 走行中後輪が右に横すべりしたときは、ハンドルを左に回して車体の向きを立て直すようにするとよい。
- 問題 14 走行中にタイヤがパンクしたときは、ハンドルをしっかりと握り車の方向を直すことに全力を傾け、断続的にブレーキをかけて止めるのがよい。
- 問題 15 夜間、見通しの悪い交差点やカーブなどの手前では、ほかの車や歩行者に交差点の接近を知らせるため前照灯を上向きに切り替えるなどするとよい。
- 問題 16 後輪が右に横滑りを始めたときは、ブレーキを使わず、まずアクセルをゆるめて、同時にハンドルを左に切るとよい。
- 問題 17 濃い霧のときは、視界がとでも狭くなるので道路の中央やガードレール、前の車の尾灯をめやすに速度を落として運転するのがよい。
- 問題 18 夜間、見通しの悪い交差点やカーブなどの手前では、ほかの車や歩行者に交差点への接近を知らせるため前照灯を上向きに切り替えたり、点滅したりすることは危険である。
- 問題 19 走行中に、エンジンの回転数が上がった後、故障などにより下がらなくなったときは、四輪車の場合はギヤをニュートラルに入れて車輪にエンジンの力がかからないようにする。
- 問題 20 ハイドロ・プレーニング現象とは、長い下り坂でフットブレーキをひんばんに使いすぎたときに、急にブレーキが利かなくなることをいう。
- 問題 21 ぬかるみなどで車輪がから回りするときは、エンジンの回転数を上げ、一気に出るようにするとよい。
- 問題 22 走行中にタイヤがパンクしたときは、思わぬ方向に進むと危険なので、ハンドルをしっかりとにぎり、急ブレーキをかけて車を早く停止させることが大切である。
- 問題 23 自動車を運転中、大地震が発生した場合は、急ハンドル・急ブレーキを避けるなど、できるだけ安全な方法で道路の左側に停止させることが必要である。
- 問題 24 夜間、自分の車と対向車のライトで道路の中央付近の歩行者などが見えなくなること(蒸発現象)がある。
- 問題 25 対向車と正面衝突の恐れがある時は、警音器とブレーキを同時に使い、できる限り左側によけ衝突の寸前まであきらめないでブレーキやハンドルでかわすようにする。
- 問題 26 走行中、後輪が横滑りを始めた時は、急ブレーキをかけて停止させた方がよい。
- 問題 27 大地震が発生し、やむを得ず自動車を道路上に置いて避難するときは、エンジンを止め、エンジンキーを抜き取り、窓を閉め、ドアロックしなければならない。
- 問題 28 二輪車でぬかるみや砂利道を走行するときには、ブレーキをかけないようにし、スロットル(アクセル)で速度を一定に保ち、バランスをとりながら通過するようにする。
- 問題 29 後輪が横滑りを始めたときは、ブレーキペダルを踏まないで、ハンドルで車の方向を立て直すようにする。
- 問題 30 昼間でも濃い霧の中で50メートル(高速道路では200メートル)先が見えないような場所では前照灯をつけなければならない。

- 問題 31 二輪車で高速走行中は、急ブレーキをかけると転倒する危険があるので、ブレーキをかける時は、一段低いギアに落としてエンジンプレーキを使うとともに、ブレーキは数回に分けてかけるとよい。
- 問題 32 夜間、一般道路に普通自動車を駐車するときは、道路照明などにより、50メートル後方から明瞭に見える場合であっても、非常点滅表示灯、駐車灯又は尾灯を必ずつけなければならない。
- 問題 33 二輪車で、悪路を走行するときは、座席の後方に座り、スピードを上げて走るとよい。
- 問題 34 霧のときは、ライトを上向きにすると見通しがよくなる。
- 問題 35 夜間、二輪車に乗るときは、反射性のよい衣服または、反射材のついた乗車用ヘルメットを着用した方がよい。
- 問題 36 対向車と正面衝突のおそれがあるときは、ハンドルとブレーキでかわすようにしなければならないが、道路外が安全な場所であるときは、道路外に出ることもためらってはならない。
- 問題 37 夜間、前車に続いて進行するときは、昼間のときよりも車間距離を長めにとる方がよい。
- 問題 38 夜間の運転は、付近が暗く見えにくいいため、同じ速度でも昼間より遅く感じる。
- 問題 39 初心運転者が夜間、車を運転するときは、運転操作をしやすいように室内灯をつけておくとうよい。
- 問題 40 夜間の運転は前照灯などをつけなければならないが、商店街などで50メートル先までよく見えるところを通行するときは、前照灯をつけなくてもよい。
- 問題 41 昼間でも、雨の水しぶきなどで見通しがよくないときは、前照灯などをつけた方がよい。
- 問題 42 災害対策基本法による通行禁止区域等においては、警察官がいなくときに自衛官や消防吏員が車の移動等、必要な命令を行うことができる。
- 問題 43 下り坂などでブレーキがきかなくなった場合は、ブレーキペダルを数回に分けてふみ、手早く減速チェンジをしてエンジンプレーキをきかせ、加速をおさえてからハンドブレーキを引くのがよい。
- 問題 44 タイヤがスリップして発進できないときは、砂袋・マット・木の枝などを駆動輪の前にさし入れてすべり止めにするとよい。
- 問題 45 スタットレスタイヤやタイヤチェーンを使用している車は、雪道で急ブレーキをかけても安全に停止できる。
- 問題 46 雪道を走行するときは、わだちを走るとハンドルをとられて事故の原因となるので危険である。
- 問題 47 気温が著しく低い場所で屋外に駐車するときは、ハンドブレーキはかけないで、ギアをローかバック(オートマチック車は「P」)に入れておいた方がよい。
- 問題 48 地震災害に関する警戒宣言が発せられたので、交差点の中でただちに駐車し、避難した。
- 問題 49 車を運転中に大地震が発生して避難するときは、できるだけ車を使用して安全な場所に移動するとよい。
- 問題 50 夜間、一般道路に普通自動車を駐車するときは、道路照明などにより、50メートル後方から明瞭に見える場合は、非常点滅表示灯、駐車灯又は尾灯をつけなくてもよい。

履修番号19 解答

もんだい 問題 1	×		もんだい 問題 26	×	
もんだい 問題 2	○		もんだい 問題 27	×	
もんだい 問題 3	×		もんだい 問題 28	○	
もんだい 問題 4	○		もんだい 問題 29	○	
もんだい 問題 5	○		もんだい 問題 30	○	
もんだい 問題 6	×		もんだい 問題 31	○	
もんだい 問題 7	○		もんだい 問題 32	×	
もんだい 問題 8	○		もんだい 問題 33	×	
もんだい 問題 9	×		もんだい 問題 34	×	
もんだい 問題 10	×		もんだい 問題 35	○	
もんだい 問題 11	○		もんだい 問題 36	○	
もんだい 問題 12	×		もんだい 問題 37	○	
もんだい 問題 13	×		もんだい 問題 38	○	
もんだい 問題 14	○		もんだい 問題 39	×	
もんだい 問題 15	○		もんだい 問題 40	×	
もんだい 問題 16	×		もんだい 問題 41	○	
もんだい 問題 17	○		もんだい 問題 42	○	
もんだい 問題 18	×		もんだい 問題 43	○	
もんだい 問題 19	○		もんだい 問題 44	○	
もんだい 問題 20	×		もんだい 問題 45	×	
もんだい 問題 21	×		もんだい 問題 46	×	
もんだい 問題 22	×		もんだい 問題 47	○	
もんだい 問題 23	○		もんだい 問題 48	×	
もんだい 問題 24	○		もんだい 問題 49	×	
もんだい 問題 25	○		もんだい 問題 50	○	

☆見直しのポイント

不正解だった問題やわからなかった問題は、学科教本にマークし、後で暗記できる状態(明日になると忘れてしまいますので・・・)にしておきましょう。→問題で覚えると、文章などが変わるとわからなくなります。